

親株のハウス内育成

[材料]

ビニルハウス：	幅 5.5m × 長さ 15m (堆肥由来の塩類蓄積解消のため R7 年 5 月～10 月に屋根ビニルを撤去)
ウネ：	幅 90 cm × 長さ約 13m 3 ウネ
ウネ止め：	幅 10 cm 長さ × 3m の杉板を 4 枚と少し (この板が無いとウネ端が崩れて 1 列に 8 株植えにくい)
トンネル支柱：	コメリ「ダンポール K」 5mm × 2.1m を 10 本/ウネ
トンネルビニル：	幅 185cm、穴あきビニルフィルム (4 列穴)
トンネルパッカー：	外形 5.5 mm をトンネル支柱の片側に 1 つおきにビニルを止めている。
給水装置：	「スミサンスイ」チューブ、フィルター付き (水源は水道水で塩ビ配管は自作。1 ウネずつ約 1 時間灌水)
リモート温度計：	トンネル内とハウス外側の温度を母屋の室内からチェック



草取り中の風景。左のウネは葉ネギ (2月 5 日)

[親株の植付]



1. 植付板の準備

- ・幅 5.5 cm × 長さ 85 cm、厚さ 2 cm くらいの木板を用意する。
- ・中央から片側 10 cm、その後 9 cm ごとに 3 か所にマジックで印をつける。

2. ウネに直角に板を置いて、印の付いた位置に親株を植え付ける。

- ・自分から遠い位置に植えるときは板に足を掛ける。

3. 1 列 (8 株) 植えたら、板を外して植えた株に接するよう板を置き替えて植えていく。

[植付の実績]

①R7 年 11 月 10 日～17 日で盆咲と彼岸咲の親株約 2,800 株を植え付けた。

1 ウネ (13m) 当たりでは、117 列 936 株くらい植えられる。

②11 月 24 日～27 日に 10 月咲の親株を露地に同じ密度で 5 品種 760 株を植えた。

他は、小菊栽培マニュアル 10 の親株植付の部分とほぼ同じです。